

# 史泉

第四十一号

---

伊勢神宮の成立……………	上井久義	(1)
延喜式「祭日」条に関する一試論……………	二宮正彦	(32)
宇多天皇尚侍藤原淑子の円成寺について……………	波多野忠雅	(47)
懷徳堂学派の經濟思想……………	井上実	(64)
——とくに中井竹山と山片蟠桃の經濟思想について——		
古い手紙と文書あれこれ(5)……………	末永雅雄	(80)
昭和四十四年度史学科卒業論文題目……………		(91)
昭和四十五年度史学科関係授業科目……………		(96)

---

関西大学 東西学術研究所紀要 3

昭和四十五年三月  
B5 五〇〇円

大宰帥大伴卿の贈答歌……………吉永 登  
 東北大学狩野文庫架蔵の御文庫目録……………大庭 脩  
 聖堂文庫の賦役府県志目録……………大庭 脩  
 明治初期紡績業と水力的基礎……………末尾 至行  
 エズラ・パウンドの 'PAIDEUMA'……………安川 昱  
 についで……………  
 A. Gide の作品における image の発展(1)……………重本 利一

関西大学 東西学術研究所刊行物

〔研究叢刊〕

江戸時代における唐船持渡書の研究 大庭 脩 昭42 七、〇〇〇円  
 土佐藩幕末藩法海南政典の研究 石尾芳久 昭44 二、〇〇〇円  
 蔵漢賢 愚 経 高橋盛孝 昭45 五、〇〇〇円  
 〔資料集刊〕  
 湖北秋収暴動経過の報告 昭36 七〇〇円  
 上海総工会の報告書 昭37 四〇〇円  
 中国共産党五年來の政治主張 昭38 七〇〇円  
 抗日軍政大学の動態 昭40 七〇〇円  
 紀伊国和佐庄歡喜寺文書 昭43 五〇〇円

泊園 第七号 昭和四十三年六月

若き日の弟石浜……………藤沢 かつ  
 中国革命の底流……………衛藤 藩吉  
 中国經濟の展望……………石川 滋  
 中国文學に於ける魯迅……………増田 渉

泊園 第八号 昭和四十四年六月

額 田 王……………吉永 登  
 韓非子について……………竹内 照夫  
 甲骨文字の書風……………三原 研田

泊園 第九号 昭和四十五年十月

大阪の洋学……………有坂 隆道  
 長柄の人柱……………高橋 盛孝  
 石山本願寺……………宮崎 円邈

第十回 泊園記念講座

近世日本の儒学 — 泊園学を中心として —

明治期の泊園学……………壺井 義正  
 儒教の遺産……………柴田 実  
 — 明治における儒教批判とその擁護 —  
 徂徠学形成の過程……………今中 寛司  
 昭和四十五年十一月十四日午後一時半〜四時半、北浜の大阪証券会館九階ホールで右のとおり開催されました。

地誌学 1 ①

佐々木高明講師  
服部 昌之助教授

地誌学 2 ①②

織田 武雄講師

博物館学 ①

小野 勝年講師

博物館実習 ①

小野 勝年講師  
末永雅雄名誉教授  
網干 善教助教授

文化人類学 ①②

末尾 至行教授

〔一般教育〕

日本史 ①文

網干 善教助教授

①法

小山 仁示助教授

①経 ①商

笠井 倭人講師

①社 ②文法社

有坂 隆道教授

②文法社

有坂 隆道教授

②経 ②商

小山 仁示助教授

世界史 1 ①文 ①経 A

加藤 一朗教授

①法 ①経 B ①商

早川 良弥講師

①社 ②文法社

村岡 健次講師

②経商

原 弘二郎教授

工

秋山 博愛教授

世界史 2 ①文 ①法 ①社

藤善 真澄講師

①経 ①商

堀川 哲男講師

②文法社経商

町田 章講師

人文地理 ①文

島田 正彦講師

①法

服部 昌之助教授

①経 A B

末尾 至行教授

①商 ②経 ②商

樋口 節夫講師

①社

山澄 元講師

②文法社

矢守 一彦講師  
宇田 米夫教授

人類学 ①文 A B

鳥越憲三郎講師

①法 A B

上井 久義講師

②文法社

横田 健一教授

〔大学院〕

古代史講習 1

井上 薫講師

古代史講習 2

横田 香融教授

中世史講習 1

横田 健一教授

中世史講習 2

末永雅雄名誉教授

近世史講習 1

横田 健一教授

近世史講習 2

柴田 実教授

近世史講習 1

小山仁示助教授

近世史講習 2

有坂 隆道教授

東洋文化史講習 1

柴田 実教授

東洋文化史講習 2

森 鹿三講師

考古学

三上 諦聴教授  
(藤本 勝次教授)

日中交渉史

末永雅雄名誉教授

東西交渉史

大庭 脩教授

比較文化史

藤本 勝次教授

西洋文化史

井上 智勇講師

◇三上諦聴教授は、六月ごろから御健康をそ

原 弘二郎教授

こねられ、入院加療を必要とすることとな

った。御回復の早からんことを祈っている。

◇右記担当者欄の横に( )で示したのは後

期からの担当交代者である。

執筆者紹介(執筆順)

上井久義 本学講師(非常勤)

二宮正彦 本学講師(非常勤)

波多野忠雅 関西大倉高校教諭

井上 実 神戸山手学園高校教諭

末永雅雄 本学名誉教授

史 泉 第四十一号

五百円(千30円)

昭和四十五年十二月一日発行

大阪府吹田市千里山

編集兼 発行者 関西大学史学会

振替大阪二六〇一六番

代表者 原 弘二郎

印刷所 京都市南区東九条西岩本町八  
大宝印刷株式会社

# 史 泉

第三十九号 昭和四十四年十二月

古代末期の農民問題について……………戸田 芳実

藤原道長浄妙寺創建考……………波多野忠雅  
—造営の背景に対する再検討を基調として—

岡倉天心について……………森 ひで子  
—明治精神の一考察—

古い手紙と文書あれこれ(4)……………末永 雅雄

経済的・社会的変容と居住様式の変化(第I部)  
—散居村における事例—……………橋本 征治

昭和四十三年卒業論文題目(一部・二部・大学院)

史学関係受贈雑誌論文目録(昭和四十二年二月〜十二月)

# 史 泉

第四十号 昭和四十五年三月

幻の大鎧発見……………大河内海蒙

長谷寺の大鎧……………末永 雅雄  
西本 隆旨

禁書に関する二、三の資料……………大庭 脩  
—長崎聖堂文書研究の一—

八角堂の建立を通じてみた古墳終末時の一様相  
……………菅谷 文則

経済的・社会的変容と居住様式の変化(第II部)  
—散居村における事例—……………橋本 征治

長崎来航中国人名索引(1)……………松浦 章

史学関係受贈雑誌論文目録(昭和四十三年一月〜十二月)